

記載例(農業用施設)

①

事業計画書(共通)

1 農地転用を必要とする事業を行う理由

- ①分散して保管していた農機具を一括して保管・管理し米の集出荷作業の効率化を図るため申請地に新たに農業用倉庫を整備するため。
- ②規模拡大に伴い新しい農業機械や資材を既存施設での対応が難しいため、申請地を取得し新たに農業用倉庫を整備するため。

2 農地を適地として選定した理由

集落内で農地以外の土地を探したが、適地が見つからないため、やむを得ず申請地を選定した。

3 転用事業費内訳

用地取得・借上経費	500,000円
造成・整地経費	1,000,000円
施設・建物建設経費	20,000,000円
設計費	500,000円
測量・登記経費	300,000円
搬入費等諸経費	400,000円
合 計	22,700,000円

4 資金計画

自己資金	
借入資金	
補助金	22,700,000円(農業近代化資金)
合 計	22,700,000円

5 過去の転用事業の(有・無)

(有る場合)

転用事業(完了・未完了) 未完了の場合はその理由と今後の計画

6 転用事業の妨げとなる権利者の(有・無)

(有る場合)

権利者名	権利内容	同意状況
------	------	------

7 転用事業に関連する他法令の(有・無)

(有る場合)

該当法令名	手続状況・予定	進行見込み
-------	---------	-------

②

8 一体として利用する農地以外の土地の（有・無） ※道水路を含む。

（有る場合）

土地の所在	地番	現況地目	面積	所有者	同意・調整状況
湯沢市佐竹町	1-1	公衆用道路	50 m ²	湯沢市	確認済、法定外公共物使用許可予定

9 造成・盛土の（有・無）

（有る場合）

盛土高	0.5 m	土量	131.4 m ³
-----	-------	----	----------------------

10 河川等から取水の（有・無）

（有る場合）

必要性

取水方法

取水量	m ³
-----	----------------

11 上水道引き込みの（有・無）

（有る場合）

本管等の位置と引き込み方法

12 排水の（有・無）

（有る場合）

別様式「被害防除計画書」添付

【許可後1年以内に完了できない場合】

工程（暦に対応したものでなく許可日から起算したものでもよい。）

【一時転用の場合】

別様式「農地復元計画書」添付

工程（着工から農地復元まで。暦に対応したものではなく許可日から起算したものでもよい。）

【転用後に施設を貸し付けする場合】

貸し付け施設名	借り受け者名	契約予定内容（金額、期間等）
---------	--------	----------------

③

事業計画書（一般）

※他に事業計画書（共通）を添付する。

1 事業者の説明（現在の事業内容、事業歴概要）

	自己所有地	借入地
水田	60,000㎡	80,000㎡
畑	1,500㎡	300㎡
イチゴ	6,500㎡	
大豆		30,000㎡
林業	50ha	

2 農地転用を必要とする事業の概要（施設等の内容・利用方法、又は転用行為の内容・規模等）

分散して保管していた農機具を一括して保管・管理し米の集出荷作業の効率化を図る。
新しい農業機械や資材を増やし規模拡大を目指す。

農業用倉庫	250.00㎡
通路	95.00㎡
農業機械旋回スペース	200.00㎡
雪降ろし堆積スペース	190.00㎡

3 農地転用を必要とする事業全体の敷地面積の必要性・数量的な根拠

乾燥機 3台、粃タンク 2台、粃摺り機 1台、米選機 2台
トラクター 2台、コンバイン 1台、田植え機 1台
フレコン計量器 1台、イチゴ選別機 1台

被害防除計画書

1 用地造成に伴う被害防除措置

- ・ 土留め工事をする
- ・ 用壁を設ける
- ・ 法面保護をする
- ・ 緩衝地を設ける
- ・ その他

雨水が流入しないよう L 型擁壁を設置する。

※ 周囲の農地、人家、道水路等への土砂の流出、堆積等を生じさせないための対策について、該当するところに○を付け、括弧内にその具体的内容を記入すること。
被害防除計画図等においてその位置を示すこと。

2 排水計画

(1) 汚水（屎尿、工場排水等）

- ・ 合併浄化槽
- ・ 浄化槽
- ・ 公共下水道
- ・ 汲み取り
- ・ その他

(2) 生活雑排水

- ・ 合併浄化槽
- ・ 溜舥
- ・ 公共下水道
- ・ その他

(3) 雨水排水

- ・ 溜舥
- ・ 貯水池
- ・ 水路放流
- ・ 自然流下
- ・ その他

※ 該当するところに○を付け、括弧内にその具体的内容を記入すること。
被害防除計画等においてその位置・経路を示すこと。

3 隣接地への資材崩れ、近隣農地の日照・通風・通作及びその他の支障を与えないための被害防除措置

- ・ 防護柵を設ける
- ・ 緩衝地、緑地を設ける
- ・ 施設・建物の高さを加減する
- ・ その他

L 型擁壁を設置し隣地に雨水が流入しないよう留意し、日照・通風・通作に影響が生じないよう配慮する。

※ 該当するところに○を付け、括弧内にその具体的内容を記入すること。
被害防除計画図等においてその位置を示すこと。

融 資 証 明 書

年 月 日

(借入申込者)

住所

氏名 様

(証明者)

住所

氏名

弊社は、貴方から土地購入及び施設建設資金として（借入申込を受けており ・ 借入申込みがあれば）、
農地転用について秋田県知事の許可があり次第、次のとおり貸付する用意があることを証明します。

1 貸付予定金額

2 貸付対象事業

※ 証明者に独自の様式がある場合は、その様式で差し支えないものとします。